

議長（志村 忠昭）

続きまして、委員長報告を行います。

2月17日に開催されました、行財政改革特別委員会の委員長報告を求めます。

行財政改革特別委員会委員長 小川 保君。

行財政改革特別委員会委員長（小川 保）

おはようございます。

平成26年2月17日に開催した行財政改革特別委員会の結果を次の通り報告いたします。

審議事項 1. 行政改革実施計画（案）《集中改革プラン》および行政改革実施計画進捗状況（平成21年度～平成25年度）について、2. 多度津町行政改革大綱（案）について、3. 行政改革実施計画（案）（平成26年度）について。

審議結果、執行部より、1. 行政改革実施計画（案）《集中改革プラン》および行政改革実施計画進捗状況（平成21年度～平成25年度）について、2. 多度津町行政改革大綱（案）について、3. 行政改革実施計画（案）（平成26年度）

についての説明があり、これに対して委員、傍聴議員より、一つ、補助金の見直しを毎年行っているようだが、実施項目だけでなく全体的に見直しをしているのか。

一つ、毎年補助金を出している事業について精査をしているのか。

一つ、民間団体への貸付地の中で、使用していないところはないのか。

一つ、以前、第二駐車場の駐車料金を徴収してはどうかという意見があったが、町として第二駐車場を利用する職員から徴収する考えはあるのか。

一つ、住民サービスの低下、住民サービスを的確に把握するという文言があるが、実際、住民サービスのニーズはどのようなものがあり、どのように対応したのか。

一つ、行政組織機構の見直しにおいて課を増やすことは行革に逆行すると思うが、どう考えているのか。

一つ、し尿収集運搬業務の民間委託について具体的な取組内容と効果を記載する必要があるのではないのか。

一つ、要援護者情報の共有化の状況はどうなっているのか。

一つ、高齢化率の増加により、医療費の増加等のいろいろな問題が想定される。それらの問題も対策項目に加えてもいいのではないのか。

一つ、自治会組織の充実に取り組むことが自主防災組織の育成や空き家対策になると思うが、具体的な対策はどう考えているのか。

一つ、空き家対策への取組として、高齢化による空き家の増加を食い止める対策をする必要があるのではないのか。

一つ、電子決済の推進において、今までに取組をしてきたことがあるのか。

- 一つ、給食業務の民間委託はどのようなになっているのか。
- 一つ、まちづくり委員会の委員は何名ほど予定しているのか。
- 一つ、観光協会の独立に向けてどのようなになっているのか。
- 一つ、過去の職員提案制度の実績はどのようなになっているのか。また、実績に基づいて26年度はどのように取組んでいくのか。
- 一つ、定住自立圏構想の推進について目立った実績が上げられていないと記載があるが、今までにどのような取組をしてきたのか。
- 一つ、ふるさと納税の現状と他の財源確保の方法をお示してください。
- その他多くの意見、要望があり、それに対して執行部より、
- 一つ、補助金については予算査定段階で外郭団体の剰余資金に対しても注意して精査していると聞いている。
- 一つ、新年度の予算査定の中で、毎年補助金を出しているところについては決算書において繰越金が増加していないことを確認している。内容精査については各課において実施内容を確認してもらっている。
- 一つ、民間団体への貸付地の中で、使用していないところは現在ない。
- 一つ、第二駐車場を利用する職員から駐車料金を徴収することには、諸問題があると考えており、引き続き検討していかなければならないと思っている。
- 一つ、対話集会や町政報告会でのニーズはそれぞれの課、業務において出てきており、全課に渡っている。
- 一つ、行革を行っていく上で、責任分担が必要になってくるので、重要な施策については課内で検討していくことになる。
- 一つ、し尿収集運搬業務の民間委託の費用対効果について精査し記載するようになりたい。
- 一つ、要援護者台帳のシステムはつくってあり、データも入力されているが、今後どう活用して行くかを関係課とも検討しているところである。
- 一つ、高齢化率の増加により医療費の増加の課題等は総合計画の中で触れようというふうに考えている。
- 一つ、新しい世帯が新たに自治会に加入することが地域的に難しい場合には新しい自治会を設立してもらおうようにしているが、今後の検討課題である。
- 一つ、高齢化による空き家の増加の問題は本町だけでなく、全国的な問題なので、根気よく国や県に働きかけ、取組んでいきたい。
- 一つ、電子決済は職員の休暇申請については行っているが、一般決済については今後の課題としている。
- 一つ、給食業務の民間委託について1市2町で会議を開いているが、具体的な決定がなく進展がない状況である。
- 一つ、まちづくり委員会の名称や座談会での意見の吸い上げ方法も含めて検討

しているので具体的に決まり次第報告する。

一つ、観光行政を担うために観光協会の独立に向けて取組んでおり、できれば26年度中に独立させたいと考えている。

一つ、職員提案制度の実績として、今までに実績がなかったが、昨年、職員提案グランプリを行い、11件の提案があったので今後も継続していきたい。

一つ、定住自立圏構想の取組として、ビジョンを毎年見直しする中で、徐々に結果が出ると考えている。

一つ、ふるさと納税については平成24年に6件で54万円、平成25年度は14件で139万8,000円である。他の財源確保についてはホームページのバナー広告を活用する方法で検討している。

以上のような答弁があり、1. 行政改革実施計画（案）《集中改革プラン》および行政改革実施計画進捗状況（平成21年度～平成25年度）について、2. 多度津町行政改革大綱（案）について、3. 行政改革実施計画（案）（平成26年度）についてを本委員会として了承しました。

またその他として執行部より、2件の報告がありました。

以上でございます。ご清聴感謝申し上げます。

議長（志村 忠昭）

これより、ただいまの委員長報告に対する質疑を開始いたします。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

議長（志村 忠昭）

質疑なしと、認めます。これをもって、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

行財政改革特別委員会委員長報告について、これを了承することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（志村 忠昭）

ご異議なしと認めます。

よって、委員長報告は了承することに決定いたしました。